

# 豊中市社会福祉協議会

## 「身寄り問題を考える意見交流会」

- ▶ 身寄り問題について当事者の意見を伺う機会をもつため、令和6年度に初めて開催。それぞれの立場から生の声を聞かせていただく。
- ▶ メンバーは当事者団体や支援関係者など

|                         |
|-------------------------|
| 豊中市発達障害者の家族の会「一歩の会」     |
| 豊中脳損傷家族会「アンダンテ」         |
| 豊中市老人介護者（家族）の会          |
| 一人暮らし老人の会               |
| 市社協くらし支えあい事業 安心見守り事業利用者 |
| 市民後見人経験者                |
| 校区福祉委員会 会長会             |
| 民生・児童委員協議会連合会           |

|                        |
|------------------------|
| 豊中市手をつなぐ育成会            |
| 豊中支援学校友光会（同窓会）         |
| URコミュニティ 千里住まいセンター     |
| 地域包括支援センター             |
| 障害者相談支援センター            |
| 大阪司法書士会                |
| 弁護士（権利擁護・後見サポートセンター顧問） |
| オブザーバー 豊中市福祉部地域共生課     |

## ○交流会で出た主な意見

### 豊中支援学校 同窓会

成年後見制度を若くから利用すると、報酬も長期間で必要になり、障害のある子にとってどうなのか考えてしまいます。

### 豊中市発達障害者の家族の会

本人が後見人とうまく関係を築けるか不安があり、親亡きあとも本人が望むような本人らしい生活ができるか心配です。

### 老人介護者（家族）の会

超老々介護になり、介護をする家族が先に亡くなる場合に備えて成年後見制度を利用する人もいます。

### ひとり暮らし老人の会

病気をきっかけに身辺整理が必要と感じました。世間とつながり情報を得ることが大事だと思っています。

## ○シンポジウムの実施

12月  
10日

### 「身寄り問題を考える シンポジウム」を実施しました

同志社大学永田教授による基調講演の後、親なき後の問題や市民後見人、介護者家族、ケアマネジャーの視点からリレートークで4名の方に語っていただきました。当日は約130名が参加され、関心の高さが伺えました。参加者からは「身寄りのない人が増えてきて、従来の考えや方法では成り立たないことも増えていると改めて実感した」や「地域の人とつながることの大切さを痛感した」などの感想が聞かれました。

（その他の感想）

- ・体調を崩して気が弱くなると慌てて、終身サポートを契約してしまいそうになったことがある。
- ・金銭管理、死後のこと、ペットが課題です。
- ・後見人が必要だと周囲が考えても本人が拒否する場合は心配。
- ・身寄りがないことで入院、入所を断られる事例が多い。

○令和7年度意見交流会では新日自についても話し合い

※今回特別にオブザーバーとして関係の方にも多数ご参加いただく  
同志社大学 社会学部 永田教授  
豊中市 福祉部 地域共生課、長寿安心課  
元議員  
厚労省 社会・援護局 成年後見制度利用促進室  
全国社会福祉協議会 地域福祉部  
大阪府 地域福祉推進室  
大阪府社会福祉協議会 権利擁護推進室

(当事者や家族らの意見)

- ・ 後見制度のスポット利用が終わった後の支援が心配。金銭管理や詐欺被害の防止など継続した支援がどうなるのか。
- ・ 死後の費用を預けるには民間企業だと倒産などが不安。自分が住んでいる市にあって信頼のおける情報がわかるところにお願いしたい。
- ・ 社協にお願いできれば安心だが負担が心配。なんでも社協にということではなく、長く続く良い制度にするための裏付けについて検討が必要。
- ・ 制度ができることでつながりが薄くなることのないように、制度とつながりが一緒になってこれからの地域を作っていくのではないか。
- ・ 自身の死後の事や身寄りがないと困ることなど真剣に考える機会が必要。